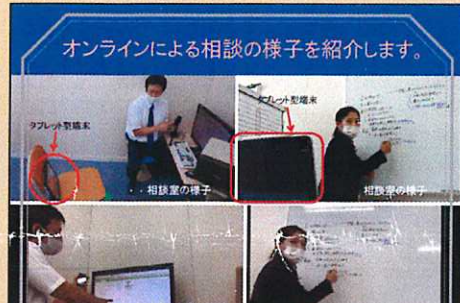


師走を迎え、毎日に寒さが増す頃となりました。

本校では、11月1～2日に、新型コロナウイルス感染症対策のため、部門・学部を分散して文化祭を実施しました。幼児児童生徒一人一人が、これまでの学習の成果を発揮し、達成感を得ることができました。

今号も、各部門の授業の取組の様子、教育相談室の取組や地域で見つけた授業づくりの工夫をお届けします。

オンラインによる相談の様子を紹介합니다。



オンラインによる相談の依頼が増えてきています。

本校と保護者の対面による相談とは異なり、オンラインによる相談では、やはり時間の差が生じたり、音声が届かなくなったり、コマ送りになったりすることがありますが、映像が伝わるオンラインならではの利点があります。

- 学校間の移動が不要になる。
- 遅刻が難しい大掛かりな教材を紹介できる。
- 多くの教材の中から、質問に対応した教材をその場で選択して提示することができる。

オンラインによる相談は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一つでもあり、ウイズコロナ社会の「新しい生活様式」の一つでもあります。また、オンラインには慣れなくて不安とか、初めてなので不安などためらうことがありますが、できる限り良い相談の方法を模索しています。まずは、お気軽に御連絡ください。

令和3年2月15日発行 広島県立尾道特別支援学校

オンライン相談をぜひ御活用ください

オンラインによる相談の依頼が増えてきました。オンラインならではの利点として、「移動時間が不要になる。」「大掛かりな教材の紹介や、多くの教材の中から必要な教材を選択して提示することができる。」等があります。まずは、お気軽に御連絡ください。

<オンライン相談活用例>

- ・ 幼児児童生徒への効果的な支援について
- ・ 授業づくり、教材・教具作成及び活用例

<巡回相談+オンライン相談活用例>

- ・ 午前中→直接訪問による授業観察
- ・ 放課後等→オンライン相談

聴覚障害部門の取組紹介



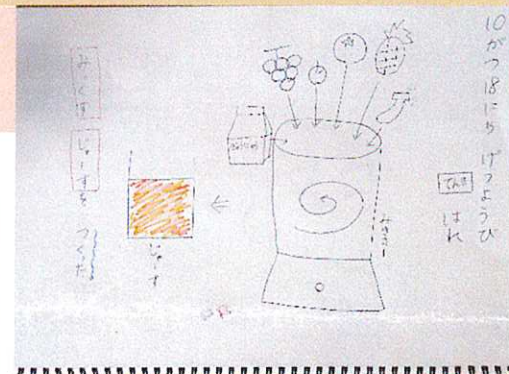
絵日記の指導

その日に体験したことの中から、子供にとって心が動いた出来事や印象に残っていることを選び出し、絵や写真、文字等を用いて、絵日記として書き残しています。子供とのやりとりを大事にしながら、出来事やその時の気持ち等を思い出させては、絵日記を書いています。

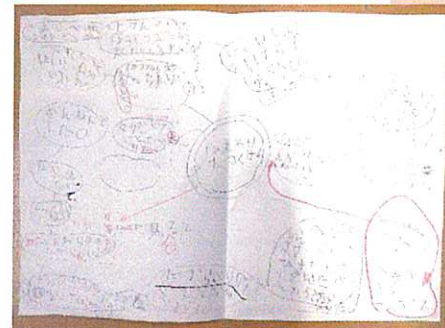
絵日記に書いたことを、家族や教師、友達に伝えて、話題を共有し共感してもらえることで、「聞いてほしい」「伝えたい」気持ちを育むことにつながります。また、絵や写真があるので再現遊びをしたり、伝える経験をたくさんしたりすることで、自分の言葉にしていけることができ、言葉の発達の支えともなります。

作文の指導

作文を書く前に、イメージマップを作成しています。テーマを真ん中に置き、①経験したことを思い出す、②テーマから必要なものを選択する、③書く順番を決める、④下書き、⑤推敲、⑥清書の順で書き進めます。会話を通して内容を深めさせては整理したり、他の先生に読んで助言してもらったりしながら、作文を書いています。



子供にとって、響く言葉、生きた言葉となるよう、経験しているその場で、その時の様子や気持ち等を言葉に代えて伝えています。



知的障害部門小学部の取組紹介

校外学習に行こう！

電車やバス等の公共交通機関の使い方や公園や郵便局、博物館などの公共の場所でのマナーや利用の仕方を学習するため、知的障害部門小学部の児童は尾道市や福山市等周辺の地域へ出かけることがあります。

知的障害のある児童は、学習によって得られた知識や技能を、実際の生活の場面の中で生かすことによって、自分の力になっていきます。バスの支払いを何度も練習してから校外学習に行きます。実際の場面であまく払うことが難しい場合もあり、何度も公共交通機関や公共の場所を利用して学習を行っています。地域で見かけた際には、優しく見守ってください。



オンライン学部朝会 知的障害部門中学部の取組紹介

3年生が司会を務めます。後ろに、今日のプログラムを書きます

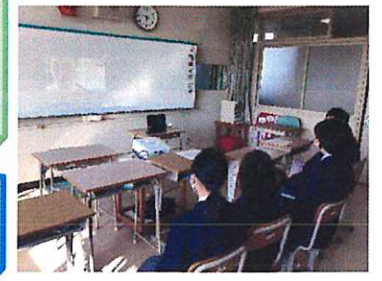
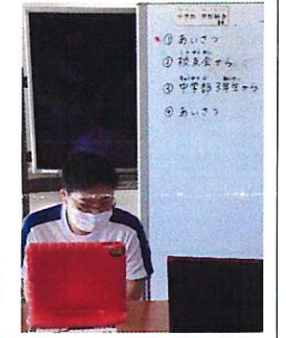
中学部では、毎週水曜日、1年生から3年生までの四学級をつないでオンライン学部朝会を行っています。ウェブ会議システムアプリを活用して配信します。

内容は、中学部の先生から季節に合った話題や身近な話題を提供することが多いですが、養護教諭から熱中症についての話や、栄養教諭から食についての話もあります。また、本校の生徒会執行部からの連絡を、役員の生徒が伝えることもあります。

オンライン学部朝会には、こんないいところがあります。

- ①イラストや写真、文字を示せるので、伝わりやすい。
- ②学年を超えてつながることができる。
各学級に質問して、生徒から答えてもらうこともあります。オリンピック・パラリンピックTOKYO2020の記念クリアファイル獲得をめぐって、じゃんけん大会を楽しんだこともありました。他学年の先生のお話を聞くことで、名前を覚えたり、親しみをもってくれたりもします。
先日は、しまなみ分校と交流し、生徒達の顔合わせをすることができました。
- ③タブレット型端末の使用に慣れることができる。
ウェブ会議システムアプリケーションへの接続を、生徒自ら行う学級もあります。

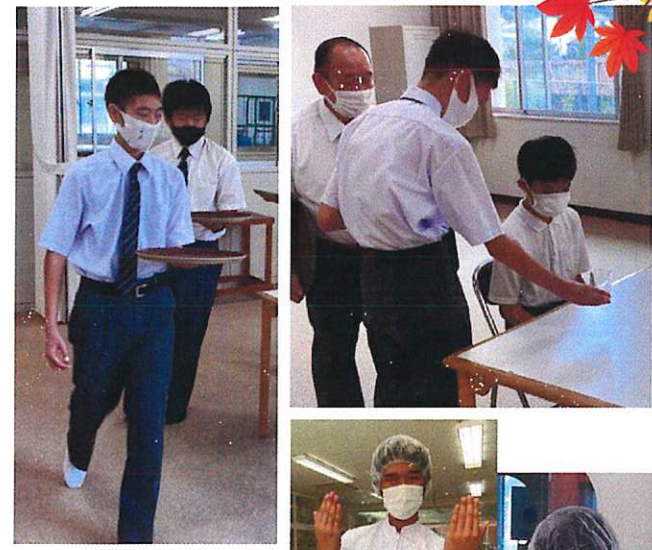
各学級で、テレビやホワイトボードに映像を映し出して見ます。しっかり見て聞いています。



知的障害部門高等部の取組紹介

外部講師による指導 ～就労に向けて～

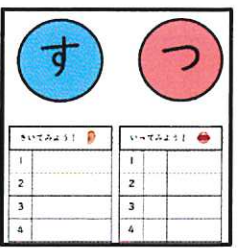
高等部では、作業検定の種目ごとに外部講師に指導をお願いしています。1年生では、食品加工、接客、流通物流、面接等、複数回来ていただきました。普段からその仕事のプロとして働いておられるからこそできるお話をして頂き、1つ1つの動作の意味を理解しながら学習しています。



来校相談の事例紹介 ～発音練習について～

来校相談（聴覚障害部門）には、聴力測定や補聴器のフィッティング、発音発話と聴き取りの練習、ことばの学習、自分の障害のこと等があります。今回は、その中の1つ、「発音発話と聴き取りの練習」の一部を紹介します。

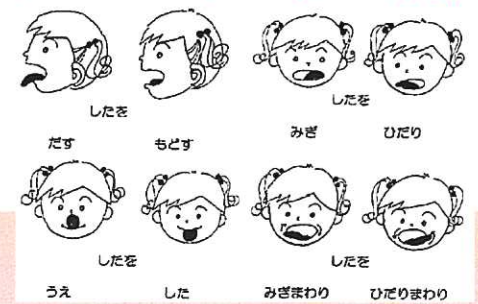
相手が言った2つの音を聞き分ける練習をした後、その音を自分で言い、どちらの音に聞こえていたかを自分で評価したり、先生に評価してもらったりすることで、自分の声を意識して発音しながら聴くことができるよう練習します。そして、発音が違うと気付いたら、自ら言い直したり、初めから少しでも正しく発音をするよう意識したりするようになります。



発音の苦手な音が「語頭」「語中」「語尾」に入っているさまざまな言葉を、スライドアプリを使って自ら操作して練習しています。意欲的に発音するので、どんな時に発音が難しいのかを周りの人は把握することができます。



できるかな？～舌の体操～



地域で見つけた指導の工夫 ～抽象的な概念を形成するための指導の工夫～

ある小学校では、「平均」という抽象的な概念の的確な形成と言葉の理解に繋げるための手立ての工夫として、以下の取組を行っています。
「ならず」「同じに揃える」について、具体的な操作活動を伴った多様な直接体験を通して、具体的なイメージをもたせることをねらいとしています。
今回は、いつでも振り返ることができるようにまとめた児童のノートの中から、指導の工夫が見られたところを紹介します。

平均～ならした大きさ① 10/26

問 ならし方を考えよう。

・でこぼこした砂場

→ (高い所) そり上がっている土を低い所に移動させていたらする。

・数のことなるキューブ

→ 高い所(多い)を低い所(少ない)へ移動させて、同じ高さにする。

同じ高さになるよう、ブロックを移動させる前と、移動させた後を色分けをして比較できるようにしています。

「平均」を 体験的に学ぶ

ある小学校では、「平均」という抽象的な概念の的確な形成と言葉の理解に繋げるための

・かさかことなるジュース

→ 多い所から、少ない所へうつして、同じかさにする。

色水が同じかさになるよう、よく見てスポイトで色水を移しています。

このように、「移動させる」「うつす」活動を充実させることで、でこぼこを「平らにならず(=平均)」ことが体験を通して分かりやすくなります。これが学習の土台となる「平均」の的確な概念形成及び言葉の理解に繋がります。

本校ホームページが リニューアルしました！



ぜひ、御覧ください。

センター的機能の御案内

本校では、特別支援教育（聴覚障害、発達障害、知的障害）に関する各種相談を承っています。

- ◆来校相談
- ◆巡回相談
- ◆電話相談
- ◆研修協力等
- ◆乳幼児教育相談
- ◆オンライン相談
- ◆就学等に関する相談

まずは、お気軽に下記まで御連絡ください。

<聴覚障害部門対象地域>
尾道市、三原市（大和町を除く）、福山市、府中市（上田町を除く）、世羅郡（小国、上津田、黒川、下津田、中、長田、山中福田、吉原を除く）

<知的障害部門対象地域>
尾道市、（百島、浦崎、因島、瀬戸田を除く）

〒722-0022
広島県尾道市栗原町1524
電話：0848-22-5248
FAX：0848-22-5249

<http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp>

担当 聴覚障害部門（新田）
知的障害部門（新林）

